

不登校の実質ゼロに向けた取組

資料3

重度

児童生徒の不登校の度合い

軽度

児童生徒の様子

家から出られない
家から出られず、
どこの支援にも繋
がっていない

学校に行けない
学校のルールや人
間関係に馴染めず、
在籍校に行くことが
できない

教室に入れない
学級のルールや人間
関係に馴染めず、登
校しても教室に入れな
い

登校できない
遅刻・行きしぶりな
ど、家から学校に行
くための支援が必要
い

不登校につながるおそれ
がある
席につけない、話をきいていないな
ど学習姿勢が身についていない

～R5の取組

こどもサポート
ネット事業

登校支援 ※人手が不足

学習姿勢向上
(モデル実施)

R6～の取組

業務内容追加
訪問支援

こどもサポート
ネット事業

拡充
居場所支援

登校支援

実施校拡大
学習姿勢向上

こども生活・
まなびサポート
事業の取組み

区内小中学校に
区登校支援・見守り
支援員を配置
(登校支援と兼任)

区内中学校に
区居場所支援員を配置
居場所の環境整備

区内小中学校に
区登校支援・見守り
支援員を配置
(訪問支援と兼任)

区内小学校に区学習姿勢
向上支援員及び区低学年
サポーターを配置



自宅に訪問し、学
習支援や相談対応
など、不登校によ
る不利益を補う支
援を行う



つながり先を整理
し、教育支援セン
ター、フリースク
ールなど学校外の
支援機関へのつな
ぎを行う



別室登校の支援を行
い、教室に入れない
児童生徒を段階的
に登校できるようにする



電話や家庭訪問
などにより学校に
通えるようにする



座って学習する、話を聞くな
どの学習姿勢定着に向けた
個別の支援を行う



支援内容

不登校者在籍率を大阪市平均に近づけ、不登校の度合いや状況に応じたつながり先を確保し、
全員が何らかの支援につながっている「不登校の実質ゼロ」を目指す

学習姿勢を定着させ、
学力の向上を目指す